

行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	水銀廃棄物の処分に係る技術的基準の検討業務費		<b>担当部局</b>	廃棄物・リサイクル対策部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	産業廃棄物課		廣木 雅史		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4-4 産業廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	水銀によるリスク削減のための条約の制定に向け、政府間交渉において、製品及び工程中の水銀需要の削減、水銀の国際貿易の削減などが検討されており、条約発効後は余剰となる水銀を廃棄物として処分されることが想定されている。従って、条約発効後の我が国の水銀処理に支障を来さないよう、現在処分方法が技術的に確立しているとは言い難い水銀の処分について、その技術的な検討を行うものである。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	水銀の処分として有望な安定化化合物(硫化水銀等)を対象に、廃棄物の最終処分技術として応用した際に生ずる課題等を抽出し、これらの課題等の解決に向けた方策等の検討及びあるべき最終処分の基準の方向性について検討を行う。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	10	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率 (%)	-	-	-	-	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	課題の解決策に向けた方策の検討や最終処分の基準の方向性について検討を行うものであり、成果実績の数値化は困難			達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	課題の解決策に向けた方策の検討や最終処分の基準の方向性について検討を行うものであり、活動実績の数値化は困難						( ) ( )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠					
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	-	10	24年度新規事業				
	計	-	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>現在UNEPで政府間交渉中の水銀条約の発効により、水銀の廃棄物化が想定されている。  水銀の安全かつ安定的な最終処分方法は確立しておらず、これらの処理方法の確立及び処分基準の設定が必要となっているところ、あるべき最終処分の基準の方向性について検討を行うものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>水銀条約の発効による水銀の廃棄物化を想定し、水銀の最終処分方法の確立及び処分基準を設定するために検討を行うものであり、事業の必要性は認めるが、執行の際は効率的に務めること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**支出先上位10者リスト**

一次支出先が独立行政法人、公益法人の場合は下記にも記入すること。(23年4月1日現在)

法人名							
役員総数 (官庁OB/役員数)	/	常勤役員数	/	非常勤役員数	/	監事等	/
職員総数		内、官庁OB		役員報酬総額		官庁OB役員 報酬総額	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					